

■登壇者プロフィール ※敬称略

馬場 恵氏（英国チルドレンズホスピス・サウスウエスト 小児緩和ケア専門医）

1996年、高校2年の時に父の転勤で渡英。2003年、ニューキャッスル大学医学部卒業。2年間の卒後研修後、小児科研修開始。マンチェスターとロンドンで5年研修後、10年から緩和ケア専門研修を受ける。臨床研修中にカーディフ大学緩和ケアDiplomaとMScを修得。14年、英国小児科学会緩和ケア医の認定を受ける。現在、英国南西部のこどもホスピスに勤務。慶應義塾大学湘南藤沢研究所医療倫理・医療安全教育研究ラボ上席所員。趣味はマラソン、音楽、料理。

細谷亮太氏（聖路加国際病院副院長）

東北大学医学部卒業後、米国での病院勤務を経て現職。専門は小児がん、ターミナルケア、育児学。著書に『今、伝えたい「いのちの言葉」』（佼成出版社）、『小児病棟の四季』（岩波書店）等。

梶原厚子氏（医療法人財団はるたか会 NPO法人あおぞらネット 統括看護管理者）

96年（株）クロス・サービス福祉事業部ケアサポートまつやま入社、09年同法人にてほのかおひさま児童デイサービス開所。2012年、子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田看護師。

小林信秋（特定非営利活動法人難病のこども支援全国ネットワーク会長）

長男を病で亡くし、会社を辞めて難病児支援活動に携わる。2006年、親の会らと働き掛け、小児慢性特定疾患治療研究事業の法制化を実現。朝日社会福祉賞、第7回ヘルシー・ソサエティ賞受賞。

高橋昭彦（特定非営利活動法人うりずん理事長）

地域医療や在宅医療に従事したのち、米国にてホスピス研修。帰国後、栃木で「ひばりクリニック」を開業。06年「うりずん」開所。宇都宮市からの委託で重症心身障がい児者の預かりを開始。第10回ヘルシー・ソサエティ賞受賞。